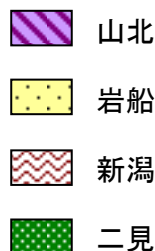
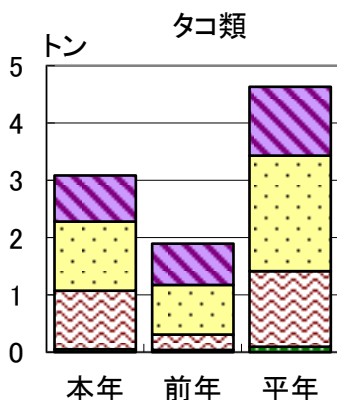
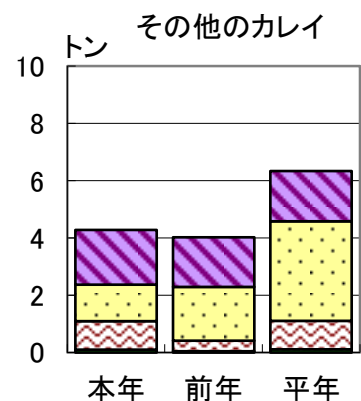
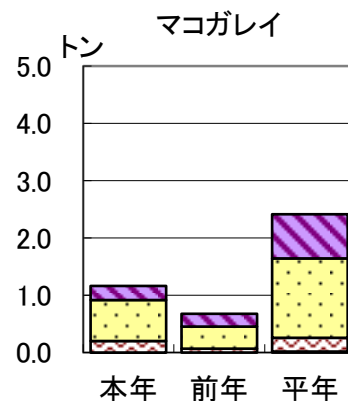
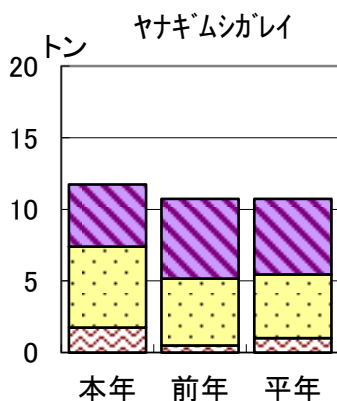
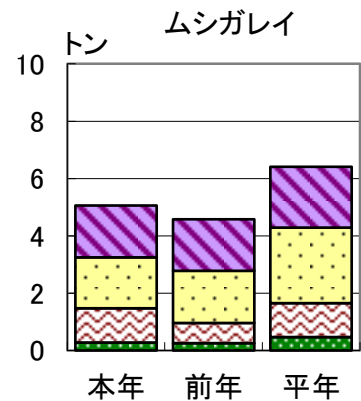
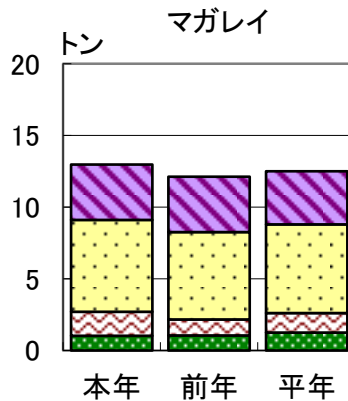
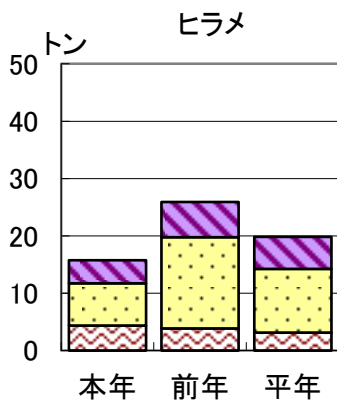


◎板びき網 新潟県内主要地区の水揚量（平成25年6月分）

単位：トン

地区	魚種	ヒラメ	マガレイ	ムシガレイ	ヤナギムシガレイ	マコガレイ	その他のカレイ	タコ類
山北		4.04	3.88	1.81	4.35	0.25	1.91	0.81
岩船		7.35	6.39	1.77	5.66	0.71	1.28	1.21
新潟		4.29	1.69	1.20	1.72	0.19	0.99	1.02
二見		0.06	1.02	0.27	0.02	0.01	0.10	0.05
計		15.74	12.98	5.05	11.75	1.16	4.28	3.09
前年		25.88	12.12	4.58	10.72	0.68	4.03	1.89
5年平均		19.80	12.51	6.41	10.73	2.41	6.33	4.63



・6月の延べ出漁隻数は、前年比90%、平年比68%でした。

・主要4地区の漁獲量は76トンで前年比89%(金額77%)、平年比79%(金額72%)となり、前年及び平年を下回りました。

・ヒラメは前年及び平年を下回りました。

・マガレイ、ヤナギムシガレイは前年及び平年並みでした。ヤナギムシガレイは体長14cm前後の小型魚が主体でした。マガレイは体長16~18cmのサイズが主体でした。

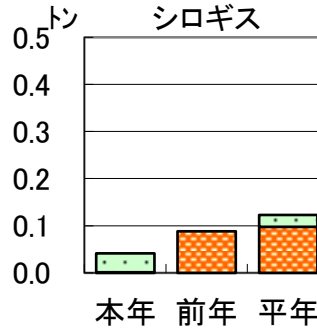
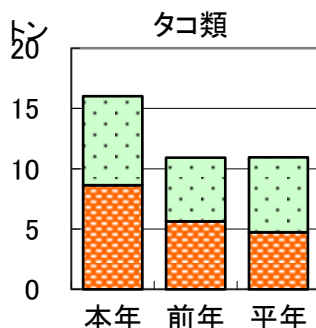
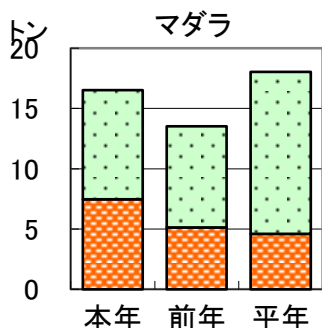
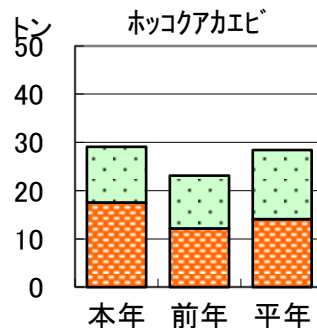
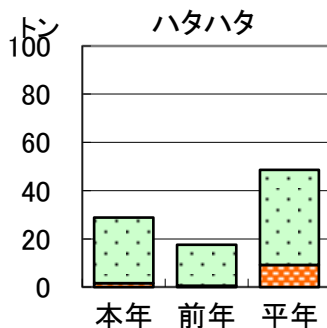
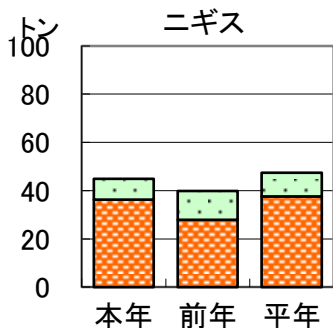
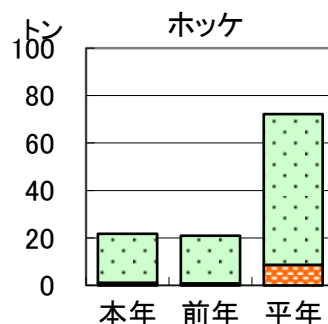
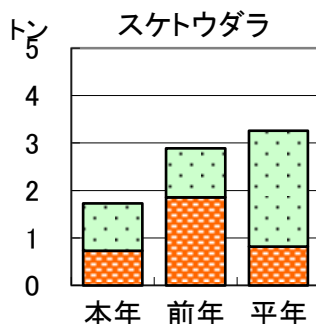
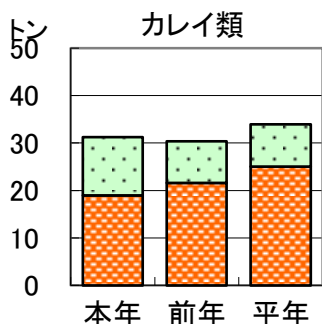
・タコ類は前年を上回りましたが、平年を下回りました。平成20年以降、漁獲量が減少しており、今年の上半期も低調のまま推移しました。

◎底びき網等 新潟県内主要地区の水揚量（平成25年6月分）

単位:トン

地区	魚種	カレイ類	スケトウダラ	ホッケ	ニギス	ハタハタ	ホッコクアカエビ	マダラ	タコ類	シロギス
山北	北	7.48	0.91	3.37	2.90	19.06	0.19	1.24	5.55	0.00
岩船	船	1.61	0.09	0.64	0.31	7.44	0.03	2.71	1.16	0.00
新潟	潟	3.19	0.00	16.60	5.47	0.62	11.31	5.10	0.68	0.04
出雲	雲崎	8.01	0.28	0.92	0.05	0.24	0.00	1.37	5.05	0.00
名立	立	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.62	0.00	0.04	0.00
筒石	石	6.62	0.38	0.21	33.73	0.54	1.81	5.49	2.15	0.00
能生	生	4.31	0.07	0.03	2.45	0.92	10.50	0.59	1.33	0.00
糸魚	川	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	2.60	0.01	0.05	0.00
計		31.25	1.73	21.77	44.91	28.82	29.06	16.51	16.01	0.04
前年		30.37	2.89	20.93	39.90	17.50	23.09	13.52	10.90	0.09
5年平均		33.96	3.26	72.23	47.43	48.59	28.41	18.04	10.95	0.12

■ 山北～新潟 ■ 出雲崎～糸魚川



・6月の延べ出漁隻数は前年比116%、平年比106%でした。
 ・主要8地区の漁獲量は319トンで前年比121%（金額109%）、平年比89%（同104%）でした。
 ・ニギスは前年及び平年並みでした。
 ・ハタハタは前年を上回りましたが、平年の半分程度の漁獲でした。
 ・ホッコクアカエビは前年及び平年並みですが、サイズは小型が主体です。
 ・スケトウダラ、ホッケは平年を下回り、漁獲が少ない状況が続いています。
 ・その他の魚種（全漁法）では、マダイが前年比165%、平年比222%と好漁でした。アカムツは前年比39%、フグ類は同67%でした。

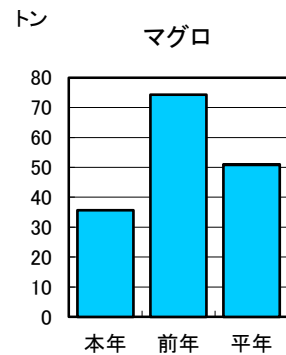
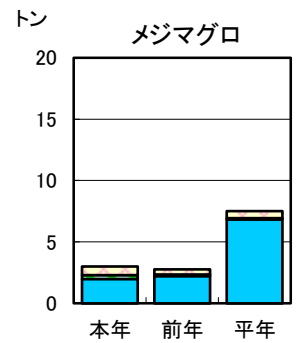
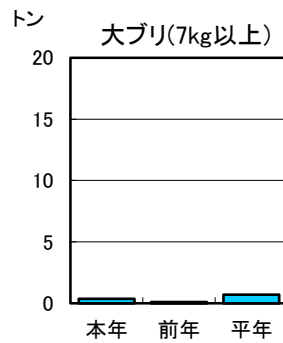
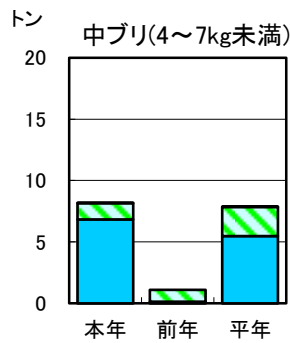
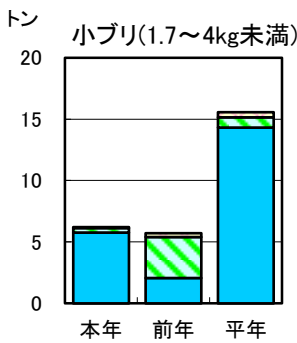
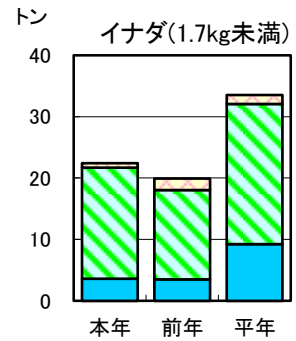
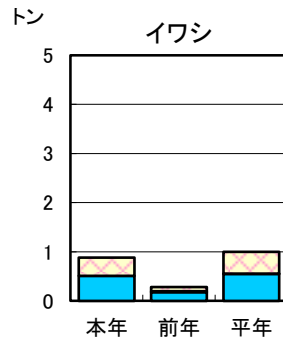
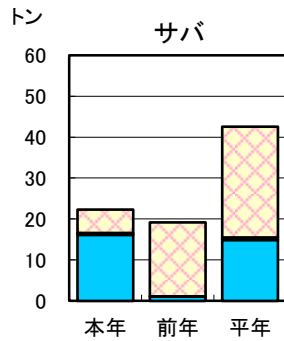
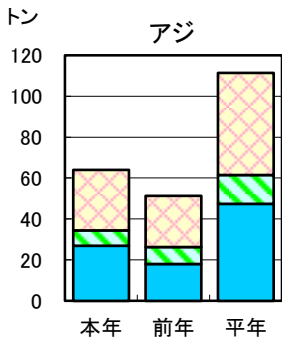
◎定置網

新潟県内主要定置網の水揚量(平成25年6月分)

単位:トン

魚種	アジ	サバ	イワシ	イナダ	小ブリ	中ブリ	大ブリ	メジマグロ	マグロ
両津湾	26.9	16.1	0.5	3.6	5.8	6.8	0.4	2.0	35.6
山北	6.2	0.1	0.0	4.7	0.1	0.6	0.0	0.3	0.0
岩船	1.3	0.3	0.0	13.4	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0
糸魚川	23.4	4.5	0.1	0.6	0.1	0.0	0.0	0.7	0.0
青海	6.1	1.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	63.9	22.3	0.9	22.4	6.2	8.2	0.4	3.0	35.6
前年	51.3	19.2	0.3	19.9	5.7	1.1	0.1	2.8	74.3
5年平均	111.4	42.5	1.0	33.5	15.6	7.9	0.7	7.5	51.0

魚種	サワラ	サケ	サクラマス	スルメイカ	ヤリイカ	マダイ	ヒラメ	その他	計
両津湾	18.2	0.0	0.0	5.0	0.0	3.4	0.1	62.0	186.5
山北	0.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	4.8	17.6
岩船	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.3	19.1	36.6
糸魚川	0.4	0.0	0.0	0.5	0.0	1.8	0.6	13.6	46.3
青海	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.1	0.1	6.4	14.8
計	19.8	0.0	0.1	5.8	0.0	5.8	1.2	105.9	301.7
前年	3.3	0.0	0.8	8.7	0.0	5.2	1.0	106.6	300.3
5年平均	13.3	0.0	0.3	18.8	0.6	6.8	2.6	92.4	405.8



□南部(糸魚川・青海) ■北部(山北・岩船) ■佐渡

・6月の水揚量は302トンで、前年比100%、平年比(過去5ヶ年平均比)74%でした。
 ・アジ、サバ、イワシともに前年を上回り、平年を下回りました。
 ・ブリ類では、イナダと小ブリは平年を下回り、中ブリは平年並みで、大ブリはほとんど水揚げがありませんでした。
 ・マグロ類は、メジマグロは前年並みで平年を下回り、マグロは前年・平年を下回りました。マグロのうち約4割の個体が50kg以上のサイズでした。
 ・その他の魚種では、6月上旬に両津湾で2~4kgサイズを中心としたサワラ銘柄のまとまった水揚げがあり、サワラは前年・平年を上回りました。

◎まき網 (平成25年6月分)

単位:トン

	アジ	サバ	イワシ	イナダ	ブリ	その他	合計
新 潟	0	0	0	0	0	23	23
柏 崎	0	0	0	0	0	0	0
寺 泊	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	23	23
前 年	0	0	0	0	4	2	6
5 年 平 均	0	0	0	19	16	14	49

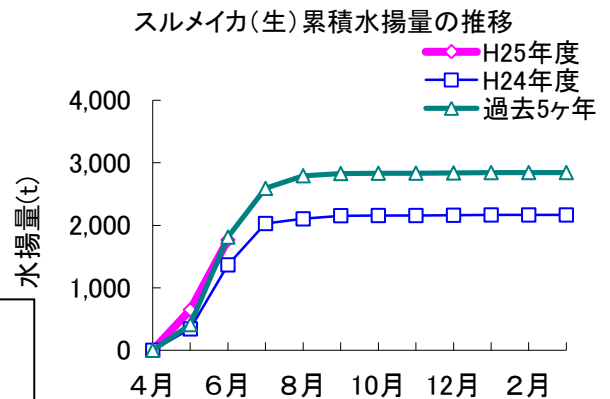
- ・6月の水揚量は23トンで、前年比378%、平年(過去5ヶ年平均)比48%でした。
- ・すべてメジマグロの水揚げです。

◎いか釣 県内主要地区の水揚量(平成25年6月) 単位:トン

地 区	隻数	水揚量
山 北	0	0
岩 船	231	240
新 潟	779	751
両 津	201	127
計	1,211	1,117
前 年	1,056	1,025
5 年 平 均	1,503	1,401

隻数:操業した延べ隻数

- ・6月の水揚量は前年比109%、平年(過去5ヶ年平均)比80%でした。
- ・4月からの累計水揚量は1765トンで、前年比129%、平年比97%と平年並みになっています。
- ・スルメイカ漁場の北上に伴い、7月18日時点での水揚隻数は10隻程度に減少しています。



◎大型クラゲ情報

東シナ海、黄海、対馬海峡で、(独)水産総合研究センターや関係大学等が調査を実施しています。現時点での黄海での大型クラゲの出現量は、大量出現のなかった平成24年の同時期の調査結果と同水準となっていますが、まだ日本沿岸・沖合海域への程度来遊するかを確定的に判断できる段階ではありません。7月17日には対馬沖のネット調査で2個体が入網していますので、今後の情報には十分ご注意ください。

大型クラゲの情報は、ホームページにも掲載しています: <http://www.pref.niigata.lg.jp/suikai/2013kuragejoho.html>

◎近県の漁況…カッコ内の数字(%)は前年同月比(富山県、石川県は前年同旬比)

山形県(6月)

定置網:イナダ35.9t(276%)、フグ14.0t(66%)、アジ13.4t(136%)、トビウオ4.5t(23%)、ウマヅラ2.7t(66%)、底びき網:タイ類22.9t(155%)、アカエビ19.2t(122%)、口細14.0t(163%)、タコ類11.0t(141%)、ヤナギ8.6t(118%)、採貝藻漁業:イワガキ35.7t(81%)、ナマコ5.7t(207%)、はえ縄漁業:タイ類25.6t(166%)、マグロ10.7t(7407%)

富山県(6月下旬)

定置網:アジ類76.9t(101%)、カタクチイワシ58.2t(1617%)、サワラ類、43.0t(977%)、マイワシ36.6t(ー%)、サバ類28.1t(176%)、スルメイカ3.4t(131%)、タチウオ3.3t(157%)、漁船漁業:シロエビ10.5t(184%)、貝類10.0t(65%)

石川県(6月下旬)

定置網:マアジ91.6t(84%)、トビウオ72.5t(89%)、フクラギ35.0t(241%)、カタクチイワシ34.3t(233%)、その他フグ類28.3t(28%)、サワラ・サゴシ27.2t(239%)、まき網:マイワシ587.1t(97%)、底びき網:ニギス47.4t(97%)、アカガレイ34.7t(90%)、アマエビ30.4t(103%)、ハタハタ27.1t(87%)、刺網その他:ベニズワイガニ51.3t(134%)、サザエ22.1(167%)、イワガキ18.8t(66%)、小型いか釣り:スルメイカ167.2t(161%)